

# 5月の図書館だより

No. 481 [2024 (令和6) 年5月号]

草津市立図書館

☎ 077-565-1818

FAX 077-565-0903

草津市立南草津図書館

☎ 077-567-0373

FAX 077-567-2357

日	月	火	水	木	金	土	= TOPICS =
			1	2	3 両館休	4 両館休	・4月23日(火)から5月12日(日)まで 「こどもの読書週間」です！！ 今年の標語は↓↓↓ 「 <u>ひらいてワクワク めくってドキドキ</u> 」 
5 両館休	6 南館休	7 本館休	8	9 H①	10	11 H② M①	
12	13 南館休	14 本館休	15	16	17	18	☆5月3日(金)祝日から5日(日)祝日まで、すべてのブックポストを閉鎖します。この間、資料の返却はできません。ご了承ください。
19 H③	20 南館休	21 本館休	22	23 M②	24	25 H④ M③	
26 ★	27 南館休	28 本館休	29 両館休	30	31		☆「あおぞら図書館」 日時 5月26日(日) 11時～14時 会場 草津市立図書館(本館) 玄関前スペース+屋外読書スペース 内容 読み聞かせや本の展示など テーマ:「スポーツ・健康」 備考 食べ物のお店が来ます
開館日 ●本館 水～月曜日 午前10時～午後6時 ○南館 火～日曜日 午前10時～午後8時 休館日 ●本館 火曜日 ○南館 月曜日 ●○両館 祝日、月末水曜日、特別整理期間、 年末年始〔12月28日～1月4日〕							

= EVENTS =	
●草津市立図書館(本館) ... H	○草津市立南草津図書館(南館) ... M
<u>H①:木曜おはなしのじかん(キッズデー)</u> 日時 9日(木) 11時～11時30分 会場 2階 会議室 対象 乳幼児と保護者の方 内容 手遊び、絵本の開き読みなど	<u>M①:おはなし会</u> 日時 11日(土) 11時～11時45分 会場 市民交流プラザ 音楽室 対象 幼児～小学校中学年 内容 おはなし、大型絵本など
<u>H②:野外おはなしのじかん</u> 日時 11日(土) 14時30分～15時 会場 屋外読書スペース ※雨天時屋内 対象 幼児 内容 絵本の開き読みなど	<u>M②:木曜おはなしのじかん(キッズデー)</u> 日時 23日(木) 11時～11時30分 会場 絵本コーナー 対象 乳幼児と保護者の方 内容 手遊び、絵本の開き読みなど
<u>H③:図書館ビブリオバトル</u> 日時 19日(日) 14時～15時 会場 1階 内容 本の紹介コミュニケーションゲーム 備考 発表者は事前申込要 申込 4月17日(水)から(詳細はコチラ→) 	<u>M③:おはなしのじかん</u> 日時 25日(土) 14時30分～15時 会場 絵本コーナー 対象 幼児 内容 絵本の開き読みなど
<u>H④:野外おはなし会</u> 日時 25日(土) 14時30分～15時15分 会場 屋外読書スペース ※雨天時屋内 対象 幼児～小学校中学年 内容 おはなし、大型絵本など	公式Instagram更新中！！ 草津市立図書館・南草津図書館のイベント、展示、館内の飾りつけなどなど、最新のオススメ情報を更新中しています。 ぜひフォローお願いします！ \アクセスはコチラ/ 

## 新着図書紹介 2024年5月

- ・お読みになりたい本がありましたら、ご予約ください。(返却期限の過ぎた本をお持ちの方は、返却を済ませてから、ご予約ください。)
- ・紹介していない本でも、ご予約いただけます。(電話でも結構です。それぞれご利用になる館に直接連絡してください。)

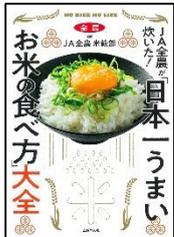
No.	記号	書名	著者名	No.	記号	書名	著者名	No.	記号	書名	著者名
1	007.13	AIガバナンス入門	羽深 宏樹／著	41	519.13	ネイチャーポジティブ経営の実践	PwC Japanグループ／監修	81	908.3 キ	教科書の中の世界文学	秋草 俊一郎／編
2	007.63	いちばんやさしい60代からのiPad	増田 由紀／著	42	521	日本の建築	隈 研吾／著	82	909.3 ム	「こどもの本」の創作講座	村中 李衣／著
3	010.21	女性と図書館	青木 玲子／著	43	538.9	「はやぶさ2」は何を持ち帰ったのか	橋 省吾／著	83	910.26 ナ	心にしみる日本語	中村 明／著
4	019.53	明日も生きていこうと思える絵本101	赤木 かん子／著	44	549	よくわかる最新電子部品の基本と仕組み	エンジャー／著	84	911.307 カ	わたしの好きな季語	川上 弘美／著
5	024.172	町の本屋という物語	奈良 敏行／著	45	572.12	基本からわかる二次電池	松本 太／監修	85	913.36 ム	京都たのしい源氏物語さんぽ	朝日新聞出版／編著
6	049	大人の教養博識雑学2000	雑学総研／著	46	589.215	ダイエットなしで着痩せして見えるワンピースの選び方	二一亜紀子／著	86	913.6 ア	仕事のためには生きてない	安藤 祐介／著
7	141.7	モフモフはなぜ可愛いのか	小林 朋道／著	47	590.4	80歳。いよいよこれから私の人生	多良 久美子／著	87	913.6 ウ	K+ICO	上田 岳弘／著
8	141.98	3日で人生が劇的に好転する文字の書き方	林 香都恵／著	48	591	生活費を月最大10万円減らす!		88	913.6 オ	最恐の幽霊屋敷	大島 清昭／著
9	159 ア	いつも機嫌がいい人の小さな習慣	有川 真由美／著	49	596.04	ひとりで食べたい	野村 麻里／著	89	913.6 オ	怖いモダチ	岡部 えつ／著
10	159.4	仕事ができる人が見えないところで必ずしていること	安達 裕哉／著	50	597.5	80代、自宅で快適に暮らす片づけ	弘瀬 美加／著	90	913.6 カ	我掬もん	神尾 水無子／著
11	182.8	ブツダという男	清水 俊史／著	51	611.3	国民は知らない「食料危機」と「財務省」の不適切な関係	鈴木 宣弘／[著]	91	913.6 キ	中野のお父さんと五つの謎	北村 薫／著
12	205	REKIHAKU 011	人間文化研究機構国立歴史民俗博物館／編	52	617.7	農家が教えるよもぎづくし	農文協／編	92	913.6 シ	狙撃手の祈り	城山 真一／著
13	210.76	「サザエさん」の昭和図鑑	長谷川 町子／漫画	53	645.7	みんなしあわせ!保護猫ビフォーアフター	猫びより編集部／編	93	913.6 ス	弱い者が夕暮れて、さらに弱い者たたくよる	スージー鈴木／著
14	225.05	『RRR』で知るインド近現代史	笠井 亮平／著	54	659	獲る食べる生きる	黒田 未来雄／著	94	913.6 タ	小田くん家は南部せんべい店	高森 美由紀／著
15	227.99	パレスチナ戦争	R.ハーリディー／著	55	670.91	「感じのいい」ビジネスメール サクッと書ける大全	山口 拓朗／著	95	913.6 ツ	八秒で跳べ	坪田 侑也／著
16	238.076	ロシア奪われた未来	マーシャ・ゲッセン／著	56	673.7	商店街の復権	広井 良典／編	96	913.6 テ	ジェンダー・クライム	天童 荒太／著
17	288.1	沖縄苗字のヒミツ	武智 方寛／著	57	673.93	ゴミ屋敷からの脱却	新家 喜夫／著	97	913.6 ナ	ジョニ黒	永井 みみ／著
18	289.1 イ	国産ロケットの父系川英夫のイノベーション	田中 猪夫／著	58	682.1	道と日本史	金田 章裕／著	98	913.6 ヒ	黙って喋って	ヒコロヒー／著
19	290.93	もっと!週末海外	小林 希／著	59	689.21	温泉旅行の近現代	高柳 友彦／著	99	913.6 ヤ	煩惱	山下 紘加／著
20	291.62	もっと、京都のいいとこ。	大橋 知沙／著	60	689.59	ファンシー絵みやげ天国	山下 メロ／著	100	913.6 ワ	グルメ・シーカーズ	Y.A./著
21	301	なぜあの人と分かり合えないのか	中村 隆文／著	61	700	ひと目でわかるアートのしくみとはたらき図鑑	池上 英洋／学術監修	101	913.68 ハ	#ハッシュタグストーリー	麻布競馬場／著
22	316.81	アイヌもやもや	北原 モコツウナシ／著	62	704	とるにたらない美術	原田 裕規／著	102	914.3 セ	ひとりになったら、ひとりにふさわしく	下重 暁子／著
23	319.1022	中国の脅威をつくった10人の政治家	石 平／著	63	720.4	ビジュアル恋猫パラダイス	町田 てつ／著	103	914.6 イ	山と言葉のあいだ	石川 美子／著
24	324.62	同性婚と司法	千葉 勝美／著	64	727.8	明朝体の教室	鳥海 修／著	104	914.6 カ	口の立つやつが勝つてこといいのか	頭木 弘樹／著
25	330	20歳の自分に教えたい経済のきほん	池上 彰／著	65	733	川瀬巴水と新版画の作家たち	滝沢 恭司／監修	105	914.6 タ	言葉は選ぶためにある	田中 優子／著
26	335.1	日本企業はなぜ「強み」を捨てるのか	岩尾 俊兵／著	66	743.6	お手本でわかる!野鳥撮影術	BIRDER編集部／編	106	914.6 ハ	シニカケ日記	花房 観音／著
27	336.49	ビジネスマナーの解剖図鑑	北條 久美子／著	67	756.7	世界の美しい甲冑解剖図鑑	ドナルド・J.ラロッカ／著	107	914.68 サ	作家とけもの	伊谷 純一郎／ほか著
28	361.4	つながらない覚悟	岸見 一郎／著	68	761.9	はじめての指揮法	齊田 好男／著	108	916 イ	スイングバイ	糸井 博明／著
29	369.31	令和6年能登半島地震		69	772.1	最後の適当日記<仮>	高田 純次／著	109	916 ス	みいちゃんのお菓子工房	杉之原 千里／著
30	374.3	校長の力	工藤 勇一／著	70	783.1	Bリーグ超解説	佐々木 クリス／著	110	916 ノ	頑張らない介護	のぼる／著
31	392.1076	日本の「これから」の戦争を考える	関口 高史／著	71	809.4	日々の名作音読で人生の深みを知る	寺田 理恵子／著	111	916 ヒ	凡人のためのあっぱれな最期	樋口 裕一／著
32	404	こどもを野に放て!	春山 慶彦／編著	72	814.4	奇妙な四字熟語	杉岡 幸徳／著	112	918.6 ト	働哭3・11	日本近代文学館／編
33	410.2	数学の世界史	加藤 文元／著	73	827.8	話が弾む中国語	ヤンチャン／著	113	929.13 チ	ロ・ギワンに会った	チョ ヘジン／著
34	431.54	生物発光が人類の未来を変える	近江谷 克裕／著	74	829.14	推し活に必ず役立つびったり韓国語	穴戸 奈美／著	114	929.14 ク	翻訳に生きて死んで	クオン ナミ／著
35	457	化石に眠るDNA	更科 功／著	75	829.3678	タイ語が1週間でいとも簡単に話せるようになる本	欧米・アジア語学センター／著	115	929.936 プ	山よりほかに友はなし	ベフルーズ・ブチャーニー／著
36	488.93	カワセミ都市トーキョー	柳瀬 博一／著	76	835.64	英語ネイティブが使うのはたった10前置詞!	デイビッド・セイン／著	116	949.83 ペ	アフガンの息子たち	エーリン・ペーション／著
37	491.371	老いをみつめる脳科学	森 望／著	77	840	基礎からレッスンはじめてのドイツ語	穴戸 里佳／著	117	953.7 シ	ロニョン刑事とネズミ	ジョルジュ・シムノン／著
38	493.46	便を見る力	石井 洋介／著	78	860	基礎からレッスンはじめてのスペイン語	本橋 祈／著	118	956 フ	手はポケットのなか	ヴェロニク・プーラン／著
39	494.93	腎臓にいいこと超大全	上月 正博／監修	79	892	世界はラテン語でできている	ラテン語さん／著	119	963 メ	ハリケーンの季節	フェルナンダ・メルチョール／著
40	498.59	70歳からおいしく栄養がとれる食事のくふう	京都栄養士ネット／監修	80	894.21	楽しいヒエログリフ入門	クリスチャン・ジャック／著	120	974 ロ	規則より思いやりが大事な場所で	カルロ・ロヴェッリ／著



- 草津市立図書館トップページ(PC用): <http://www.city.kusatsu.shiga.jp/toshokan/>
- パソコンからの蔵書検索・利用照会ページ: <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/kusatsu/webopac/index.do>

- 図書館からの予約連絡用メールアドレス: [kusatsu.library@info-a.lics-saas.nexs-service.jp](mailto:kusatsu.library@info-a.lics-saas.nexs-service.jp)  
(送信専用です。返信されてもお答えできません。)

## 今月の新刊から



『JA全農が炊いた！「日本一うまいお米の食べ方」大全』  
JA全農米穀部／監修  
(主婦の友社)

596. 3 【本館所蔵】

日本の主食は、昔からずっと変わらずお米です。しかし、パックご飯や無洗米の登場、まとめて炊いて冷凍保存する等、その食べ方は時代とともに変化してきました。新しい食べ方には新しいレシピが必要になるのではないのでしょうか。

本書は、「NO RICE NO LIFE」をアカウントにインターネット上でお米に関する様々な情報を発信する日本のお米の専門家、JA全農米穀部が提案する簡単で最高に美味しいお米のレシピ集です。卵かけご飯や納豆ご飯が100倍美味しくなる食べ方、背徳感あふれるジャンク飯、パックご飯の即席アレンジ等、掲載されているものは味も見栄えも抜群のものばかりです。

真っ白なご飯も美味しいですが、本書のようなアレンジを加えて、ご飯の新たな可能性を探ってみませんか。

(南館 川井)

皆さんは、落語家の名前や演目が書かれている看板を見たことがあるでしょうか。これに使われている、太くて丸い独特な文字を寄席文字といいます。見慣れていないと、何と書いてあるか分からないかもしれません。

本書は、寄席文字を書くのに必要な道具や書き方のコツ、日常生活への取り入れ方について、実例を交えて解説したものです。点や払い、かどなど、文字のパーツごとに注意点が詳しく書かれており、また漢字やひらがなの文字見本が大きく載っているので、初めて挑戦する人にもわかりやすいのが特徴です。

寄席文字は縁起を担ぐために誕生した書体で、文字を枠いっぱいを書くのは「余白が少ない」、つまり「空席が少ないように」という意味があるそうです。そのためか、寄席文字を見ていると力強さや愛嬌を感じ、明るく楽しい気持ちになります。寄席文字の魅力に、ぜひふれてみてください。

(南館 山口)



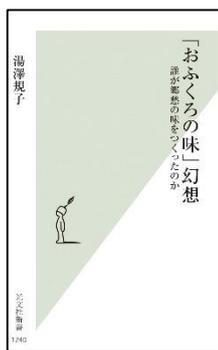
『はじめてでもきれいに書ける寄席文字』

春亭 右乃香／監修

(メイツユニバーサルコンテンツ)

727. 8 【南館所蔵】

## 司書のおすすめ



『「おふくろの味」幻想  
誰が郷愁の味をつくったのか』

湯澤 規子／著

(光文社)

2023年刊

383. 81

【南館所蔵】

著者の調査によると、「おふくろの味」が料理本のタイトルとして出現するのは1960年代であり、わずか40年ほどの間にさまざまな変遷を経て、消えていく。その時期はちょうど地方から都市に流入する人が増加した高度経済成長期から、核家族化、専業主婦の増加期と重なる。

当初の「おふくろの味」は、都市に出た若者たちの「望郷の味」という意味であり、「母の味」ではない。彼らの出身地、特に農山漁村において炊事は仕事の合間に家族の誰かが行うものであり「母」に特定されることはないからだ。また、同時期に農山漁村でも郷土の味を後世に伝えようとする動きがあったことから、故郷への思慕を青年期以降の男性がよく使う「おふくろ」という言葉で表現することが広く受け入れられた。その後、都市に出た若者たちが家庭を持ち、核家族の中で専業主婦となった「お母さん」が家族のご飯を作る姿が、理想的であり、あたかも古からの伝統であるというようなジェンダーバイアスを孕んで社会に認識されはじめると、広告戦略やメディアの煽動も相まって、「おふくろの味」の意味は「母が手作りする家庭料理の味」に変化していく。

最終章では、「おふくろの味」を料理本に冠することがほとんど見られなくなった昨今、かつて「祖母から母へ、母から娘へ」といわれた家庭料理を著名な料理研究家の息子たちが自分の哲学やアレンジを加えて発展させていること、SNSでは老若男女問わず料理を楽しむ様子が配信されていることに注目している。

本書では「おふくろの味」がテーマになっているが、人間が創り出した概念はいずれも実は多様に移ろいやすいものである。「それに気づけば、私たちは他者や世界、そして自分に対して、少し寛容になれるのかもしれない」と、著者が料理を通して覗いた未来に明るい兆しを感じた。

(南館 大西)